

第 2 期公立大学法人長野県立大学中期目標（素案）の主な内容

第 2 期中期目標（素案）	第 1 期中期目標	第 1 期からの変更点
<p>教育 （特色ある教育の推進） 少人数教育を基本に、社会人として求められる実践的・専門的な能力の向上に努めるとともに、1 年次全寮制などの取組により豊かな人間性、主体性、社会性等を持った人材へと成長するよう努めること。 海外プログラムや発展的な英語科目の開講等により、学生が実践的な英語力を身に付けるとともに、多様な価値観を理解し、グローバル化に対応できる人材へと育つよう努めること。</p> <p>大学院では、幅広い範囲の高度な専門的知識と倫理観を身につけ、新たな価値を創造・具現化する能力をもった、地域の中核となる人材を育成することに努めること。</p> <p>（教育の質の向上等） デジタル化への対応など社会のニーズを的確に捉えつつ、教育活動の状況と合わせて、教育の実施体制の構築に努めること。</p> <p>（学生への支援） 学生が県内企業を知る機会を確保し、県内企業等への就職促進に取り組むこと。</p>	<p>教育 （人材育成の方向） 少人数教育を基本に、授業に積極的にアクティブラーニングを用いるなどして、学生の論理的思考、コミュニケーション能力、主体性等の社会人として求められる実践的・専門的な能力の向上に努めること。 海外プログラム等により、学生が実践的な英語力を身に付けるとともに、多様な価値観を理解し、グローバルな視野を持って協働できる人材へと育つよう努めること。</p> <p>（新規）</p> <p>（教育の質の向上等） （新規）</p> <p>（学生への支援） 学生へのキャリア支援を行うとともに、県内企業等への就職促進に取り組むこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特色ある教育の取組を整理 ・ 在学期間を通じた英語教育の取組を追加 ・ 大学院で輩出する人材について追加。 ・ 社会のニーズなどに対応していくため追加。
<p>研究 （特色ある研究の推進） 地域の特性及び学部・学科の特性に応じた特色ある研究活動を推進するとともに、国内外の大学、研究機関等と連携を図ること。 地域課題の解決に資する研究活動について、研究成果を発信するとともに、広く活用されるように努めること。</p>	<p>研究 （特色ある研究の推進） 地域の特性及び学部・学科の特性に応じた特色ある研究活動を推進するとともに、国内外の大学、研究機関等と連携を図ること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価委員会の評価コメント（研究成果の発信）を受け、修正
<p>地域貢献 （地域連携） 県・市町村、企業・団体、大学等との連携を図り、地域の価値を高める取組に努めること。 ソーシャル・イノベーション創出センターは、県立大学と社会、地域をつなぐ役割を果たすよう努めること。 高大連携やリカレント教育等、県民の多様な学習機会に資するよう努めること。</p>	<p>地域貢献 （地域連携） ソーシャル・イノベーション創出センターを中心に、地域、企業、大学等との連携を図り、地域の価値を高める取組に努めるとともに、県民の多様な学習機会に資するよう努めること。 あわせて、地域連携に資するサテライト機能について検討すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ リカレント教育等が求められていることから追加。